

■ 7/15 東京開催！ 関西大学創立 130 周年記念シンポジウム ■

「サイバーセキュリティの最新動向と対策」

～2020 年に向けて必要な対策とは？企業はサイバー攻撃の脅威に正常でいられるか？～

【日時】7 月 15 日(金)13:30～16:45 【会場】日経ホール(東京都千代田区大手町 1-3-7 日経ビル)

関西大学は、経済界等で活躍する首都圏在住の本学卒業生から成る職域団体『関西大学東京経済人倶楽部』(所在地：東京都千代田区)と共催で、本学創立 130 周年を記念したシンポジウム「サイバーセキュリティの最新動向と対策」を 7 月 15 日(金)13:30 から日経ホール(東京都千代田区)にて開催します。

2020 年にオリンピック・パラリンピックを迎える我が国では、予想されるサイバー攻撃に備えて、今後どのようなセキュリティ対策を講じる必要があるのか、またどのような準備をすべきかを多くの企業・団体で問われています。例えば、1 秒間に 5～6 つも新たに生まれるマルウェア(不正な動作を行うソフトウェア)を完全に検知・反応するシステムの精度は既に限界レベルに達しており、その一方でマルウェアの脅威はエネルギープラントにまで及ぶなど、日増しに増大しています。企業・団体において情報漏洩は、自社の信頼を一瞬にして失わせ、業績・株価などに多大な影響をもたらします。

このような現状を鑑み、本学と関西大学東京経済人倶楽部は、関西大学創立 130 周年を機に、長きにわたって蓄積してきた英知を世に還元すべく「サイバーセキュリティの最新動向と対策」をテーマとしたシンポジウムを開催します。

当日は、米国政府機関の重要な施設・機能のサイバープロテクションを主な業務とし、18 年以上もの間一度として破られたことのないマルウェアのブロック特殊技術を有する **Blue Ridge Networks** 社の会長兼 CEO である **John Higginbotham** (ジョン・ヒギンボッサム) 氏をゲストスピーカーにお招きし、記念講演を行っていただきます。また、本学教員をはじめとする各方面でのリスク管理の専門家による講演およびパネルディスカッションを実施します。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、告知のご掲載に関しましてご検討いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

- | | |
|--------|--|
| 1 名 称 | 関西大学 130 周年記念シンポジウム「サイバーセキュリティの最新動向と対策」 |
| 2 日 時 | 7 月 15 日(金)13:30～16:45(開場 13:00) |
| 3 会 場 | 日経ホール(東京都千代田区大手町 1-3-7 日経ビル) |
| 4 対 象 | 企業経営者、システム部門担当者、興味のある方などどなたでも |
| 5 定 員 | 600 名 |
| 6 参加費 | 3,000 円/人 ※関西大学卒業生については 1,500 円/人 |
| 7 申込方法 | 関西大学東京経済人倶楽部 HP 内特設サイトから申し込み → http://ku130.com/ |
| 8 内 容 | |

【第 1 部】

登壇者：ジョン・ヒギンボッサム (Blue Ridge Networks CEO) ※言語：英語、同時通訳あり
 テーマ："Next Generation Cyber Security beyond Detection and Response."

(次世代のサイバーセキュリティ～検知・反応の次に来るもの 完全なるブロック技術～)

〈特別報告〉登壇者：桑門 秀典(関西大学総合情報学部 教授)

テーマ：暗号技術から見たサイバー攻撃

【第 2 部】 パネルディスカッション

テ ィ マ：2020 年に向けた企業のサイバー防衛戦略～ライフライン・大手海外企業の事例を踏まえて～
 モデレータ：高野 一彦(関西大学社会安全学部 副学部長 教授)

パネリスト：John Higginbotham 氏、桑門 秀典、河野 和宏(関西大学社会安全学部 准教授)、
 大崎 人士 氏(産業技術総合研究所サイバーフィジカル・セキュリティ研究グループ長)

9 一般からのお問い合わせ先 関西大学東京センター(担当：小林)

TEL: 03-3211-1670 / MAIL: ku-tokyo@ml.kandai.jp

以 上

■ 関西大学 130 周年記念シンポジウム「サイバーセキュリティの最新動向と対策」登壇者プロフィール

ジョン・ヒギンボッサム

■ John Higginbotham (Blue Ridge Networks 社 会長兼 CEO)

ハーバード大学経営大学院卒業後、HP などハイテク、宇宙産業に携わり、また金融分野においてもその地位を築いた。5 年前に Blue Ridge Networks 社の CEO に就任し、同社は米国政府機関の重要な施設および機能のサイバープロテクションを主業務としていたが、海外の重要施設、外国政府機関や民間金融機関などにその技術を提供するようになった。同社は、マルウェアを検知・反応するものではなく完全にブロックするという特許技術を有しており、18 年を超えて一度として 破られたことはない技術である。同社の技術は、調査機関の Gartner 社から高い評価を受けるとともに、元 CIA のチーフ・インフォメーション・セキュリティ・オフィサーからも推奨されている。また 2014 年 windows 向けにリリースした AppGuard というプロテクションは、2014 年、2015 年に連続して Homeland Security Award 大賞を受賞している。



■ 桑門 秀典 (関西大学総合情報学部 教授)

主な研究領域：暗号理論、情報セキュリティ、符号理論

神戸大学大学院工学研究科修士課程修了、博士（工学）。1992 年 4 月から 1996 年 8 月まで日本電信電話株式会社、1996 年 9 月から 2013 年 3 月まで神戸大学工学部・助手、同大学大学院工学研究科・准教授を経て 2013 年 4 月より現職。電子情報通信学会情報セキュリティ研究専門委員、同学会情報理論研究専門委員、同学会情報通信システムセキュリティ研究専門委員、情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会専門委員などを歴任。2003 年度情報処理学会論文賞受賞。主な研究領域は、暗号理論、情報セキュリティ、符号理論。



■ 高野 一彦 (関西大学社会安全学部 副学部長 教授)

主な研究領域：情報法学、企業法学、企業の社会的責任論

中央大学大学院法学研究科博士課程修了、博士（法学）。ベネッセ、名古屋商科大学大学院教授を経て、2010 年関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科准教授、2012 年教授、2014 年より副学部長。現在、日本経営倫理学会 理事、情報ネットワーク法学会 監事、日本リスクマネジメント学会 評議員・監事、経営倫理実践研究センター (BERC) 上席研究員、日本経営倫理士協会 理事、情報法制研究所 参与、神戸市個人情報保護審議会 委員、関西電力株式会社 経営監査委員会 社外委員、公益財団法人ベネッセこども基金 評議員などを兼任。主な研究領域は情報法学、企業法学、企業の社会的責任論。



■ 河野 和宏 (関西大学社会安全学部 准教授)

主な研究領域：情報セキュリティ

大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了後、関西大学社会安全学部助教を経て、2015 年 4 月から現職。博士（工学）。電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会専門委員を兼務。専門は情報セキュリティ。主として個人情報保護を目的とした匿名化に関する理論・技術に関する研究を進めており、通信の匿名化、情報の匿名化に関する研究を多数報告。国際会議 IAS にて Best Paper Award (2009 年)、IEEE 関西支部学生研究奨励賞 (2010 年)、IPSJ 論文船井若手奨励賞 (2011 年) を受賞。



■ 大崎 人士 (産業技術総合研究所サイバーフィジカル・セキュリティ研究グループ長)

1998 年電子技術総合研究所特別研究員を経て、2000 年に入所。2001 年産業技術総合研究所研究員、2007 年主任研究員。2007-2008 年イリノイ大学アーバナ・シャンペン校に在外研究。2013-2014 年に経済産業省情報セキュリティ政策室に出向、課長補佐。2015 年より産業技術総合研究所情報技術研究部門にて、サイバーフィジカル・セキュリティ研究グループ長。現在、内閣府 SIP 事業「重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」にて、産総研受託項目の「認証制度の設計」において研究副代表。

